

第22回小学生新聞

グランプリ

こじま ひなた
小嶋 日奈多さん

札幌市手稲区・富丘小3年

いろいろな公園に行き、楽しく取材をすることができました。見やすくなるように色使いを工夫して作りました。

まなぶん大賞・低学年の部

北海道の小学生が、地域や学校の話題取材して発信した「第22回どうしん私とぼくの小学生新聞グランプリ」（北海道新聞社など主催）。今年は、1万790点がよせられました。最高賞の「まなぶん大賞」に選ばれた6点を、2週に分けてしょうかいします。まずは低学年の部です。受賞者の感想をつづってもらい、「週刊まなぶん」編集部が感じた作品の見どころもまとめました。

入賞作は16日まで、札幌市中央区大通西3の北海道新聞本社で展示しています。また、今月下旬からはオホーツク管内や十勝管内などでも展示会が予定されています。日程や開催場所などの問い合わせは、小学生新聞グランプリ事務局 ☎011・207・4518へ。

◇おことわり 「ミンタラ」は29日に掲載します。

うちやま
内山 みなもさん

札幌市北区・新光小2年

ワラジが家の中でだっ走したり、あしがはやすぎてしゃ真を何十まいもとりなおしたりしたのが大へんでした。

ひら おか れ お
平岡 怜大君

帯広市・明和小1年

いっぱいじかんをかけてかいたので、大しょうがとれてうれしいです。サケのことをぜんぶよんでほしいです。

情報たっぷり読みやすく

「わたしの町の公園」という身近な場所をほり下げて紙面化しました。たくさんのお情報が詰まっていますが、色使いがうまく、記事をかわいい線で見やすくしているため、すっきり読みやすくなりました。公園の管理人さんに仕事の内容を聞いたり、友だち20人の好きな遊具を順位づけしているのもいいですね。水飲み場のイラストも上手です。車いすの人が使うとき、ひざが入りやすい形をしていることがよく分かります。こんな水飲み場が増えるといいですね。

興味持ってしっかり観察

本に書いてある内容を、ただまとめた作品ではありません。「ダンゴムシがワラジを食べるのか？」など、興味を持ったことを自分でしっかり観察し、確かめています。みなもさんの手の中で、ダンゴムシの赤ちゃんが生まれてくる写真を見て、思わず「すごい」と言ってしまいました。なぜ手の中でも生まれるのかの予想は、いつか確かめたいですね。ワラジとダンゴムシの比較では、表と写真を使い、一目で分かりやすいようにしました。

サケの「？」をていねいに

おじいちゃんが秋につれてくるサケを見て、「どこで大きくなるのだろう」と疑問を持った怜大君。なぜ人工化をするのか、どの海で育つのか、なぜ年によって水揚げ量が変わるのかなどを調べて、ていねいにまとめました。サケがたくさん育つために、「えさのプランクトンがちゃんとあつてほしい」と感想をつづっています。地図や絵、グラフも効果的です。サケと赤ちゃんが並ぶ写真で、サケの大きさを示したのも楽しい工夫です。